

キャラクター名
オフィリア

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン オルクス	ワークス	幻想動物D	カヴァー	
オプション	ソラリス	年齢	10代	性別	女
覚醒	生誕	衝動	嫌悪	初期侵食率	32 %
出自		経験		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	3	1	0			4	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		1
回避	3		知覚			意志	10		調達		1
運転:			芸術:			知識:	2		情報: 動物		1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
メジャー通常	RC	2r				意思対決 衝動判定難易度: 15

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
----	----	----	----	----	----

所持品	
-----	--

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	消費
古代種	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 10 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
援護の風	4	2	オート	視界	単体	自動		
効果: 判定ダイス+LV個								
支配の領域	2	6	オート	視界	単体	自動		
効果: ダイス目一つ1に変更								
絶対支配	2	4	オート	至近	自身	自動	リミ	
効果: ダイス目「LV+1」一つ1に変更								
フラットシフト	1	0	メ・リ				D	
効果: 合計侵蝕率を0にする								
墮ちる絶望	4	4d10	メジャー	視界	単体	対決	120	
効果: 意志対決 勝利したら相手に衝動判定 難易度「LV*3」								
ナーブジャック	1	4d10	メジャー	視界	単体	対決	120	
効果: 意志対決 勝利したら命令メジャーを行わせる								
神速の鼓動	1	20	メジャー	視界	シーン	対決	120	
効果: あらゆる判定と組合せ可 対象・射程を変更								
ケミカルスモッグ	★							
効果: 周囲の見通しを悪くする								
仕組まれた幸運	★							
効果: 一時的な加護という名の不運								
蝙蝠の耳	★							
効果: 音に敏感								
快楽の香氣	★							
効果: 魅了する								
効果:								

オフィリア ソラリス・ハヌマーン・オルクス
 うちの子、セセラをBCステージで復活。いつも通り嫌悪撒き散らすぞ。
 この子は元クラブ・メイヘムに所属していた。しかし、自分の生まれを周りに知られ、保護という名の半監禁みたいなものだった。それに嫌悪し、クラブ・メイヘムを裏切った。それから生きる方法として救われて人の少ないスラム近くにある本屋に住み着いた。そこで情報屋として、または取引管理人としている。ゼノスの奴にはなんかない人間でありながらRBのような奴と一応許されている。
 オフィリアはなんとも人間と人間のハーフだ。それも母親はブラック・スワンズによって殺された。父親もオフィリアと母親を護るために死んだ。その時の大声が、ガヤのうるさい音が大嫌いになった。それは半トラウマの様に。そのせいもあって他者が大嫌いだった。父親によって匿ってもらったクラブ・メイヘムも自分が人魚の娘だと知っているために扱いが嫌いだった。だから誰にも心許さない一匹狼を選んだ。母親は父親と共に行きたいと選んでしまったばかりに死んだんだ。人間なんかないで好きになったんだ。父親は敵いっこない相手に悪足掻きをした。負けると知っておきながら自ら死ぬことを選んだんだ。それが、理解できなかった。したくなかった。だって、そう自分がしたら自分が同じように死ぬんじゃないかと思ったから。反吐も出るような雑音に混ざりたくなかった。でも、母親も好きだったし、父親も優しくかったし・・・。
 ラストでは古川井月の誘いで世界崩壊を手伝うことを選んだ。だって人はどいつもこいつもクズばかりだ。私は誰が死のうがどうでもいい。どうせ失う絆なんかいらぬ。しかしPC4に対してはどうだったろうか。PC1とPC2は絆がある者だった。PC3と古川井月はかつて絆があった者だった。どいつもこいつも、クズばかりだ・・・。